

市民の声に応え 支払える国保税、 介護保険料に

佐藤 清治

(問) 日本共産党市議団が行った市民アンケートにはこれまで最高の回答がよせられている。市政に特に望むものの第一位が国保税の引き下げ、第二位が介護保険料の引き下げでした。

市は市民の方から寄せられた声をどのように受けとめて対応していくのか、支払えるものにすべきではないか。

(答)市長 低所得者対策につきましては国保税にございます法定軽減の活用や介護保険と国民健康保険の両制度にございます当市独自の減免制度の活用を図っております。

◆振動対策について

(問) 高富二丁目の方等からトラックの振動がひどい、改善できないか等の声が寄せられている。

(答)都市建設部長 状況に応じた補修を行ってまいりたい。

◆駅南の抜本的治水対策は

(問) 市は抜本的対策についてどう考えているのか。

(答)都市建設部長 10月には江戸川の河川事務所へポンプの増強について要望してまいりました。いずれにしても中川の河川改修が要ですので国土交通省に要望してまいりたい。

◆歩道整備を急いで

(問) けやき通り高久2丁目付近の要望が出されている。

(答)都市建設部長 側溝と段差がありましたので計画的に補修をしてまいりたい。

外国人地方参政権 問題について

安田 真也

(問) 外国人地方参政権は政府民主党が強力に押し進める政策であるが、マニフェストを穴があくほど覗いてもどこにも記載がない。しかしながら、国民との約束事であるマニフェストの事項より前に、この外国人地方参政権が政府提案されようとしております。法制化されて一番影響を受ける

のが、地方自治体であります。先日、上田知事は外国人地方参政権は反対であると明言をしましたが、この問題に関して、現時点での見解をお願いしたい。

(答)市長 外国人の地方参政権については、様々な視点から活発な議論がなされております。一例を挙げると、憲法上の問題からは、大きく分けて、参政権の付与は違憲であるという禁止説、外国人を排除することが違憲であるとする要請説、問題の判断を立法に委ねているとする許容説があります。憲法上の問題のほか、国籍の取り扱い、地方参政権付与の対象、選挙権と被選挙権の問題などの議論があります。いずれにいたしましても、外国人への地方参政権の付与には、検討しなければならぬ様々な問題があり、まだまだ検討が必要であるというのが私の見解でございます。今後、国会で十分に議論を尽くしていただきたいと考えております。

国、県主導の 事業に注文を！

伊藤 正勝

(問) ▽新駅、武操跡地。▽駅南、中央土地▽新トンネル、吉川橋▽3・3・4号線、三輪野江バイパス▽江戸川、中川、大場川等々。吉川は今、公共投資が集中している。国、県、UR、運輸機構など市以外の手で整備が行われ、投入資金は市の建設土木予算の百倍を超える。目配り注文し、情報を的確に市民に知らせてほしい。

(答)市長 新駅、武操跡地については駅南の整備が進む一方でレイクタウンや三郷側には大型店舗群が展開している。吉川側は住居系とし、駅を降りるとほととずるまちづくりをと話している。道路河川も吉川の実状に沿った整備をと伝えている。政権交代での政策転換もあり、スピードが落ちる懸念もあるが、早急な改善を今後も働きかける。

(問) 「情報は力、正確な情報には価値」がある。が新トンネルの開通、3・3・4号線

の使用時期だけ見ても計画の予定が次々に変わり遅れている。利用者の立場で積極的に国、県等に注文、要望をしてほしい。一連の公共投資に伴う市負担額の見直しはどうか。

(答)都市建設部長 全部の数字は手元がないが、越谷・吉川線(吉川橋と交番まで)は19年度から26年度の7カ年計画で総事業費は65億円。市負担は4億5千万円程度。三郷・吉川線(新トンネル含む1.3kmの3・3・4号線)は市負担8千200万円程度。新規の三郷・流山線(駅南整備地区と三郷境界)は57億円のうち2.9億円の負担になる見通しです。



江戸川